

鋳工業

鋳工業生産の動き

2022年の鋳工業生産指数(原指数)の年平均は105.5(2020年=100)で、対前年比0.8%の増加となりました。

主な業種をみると、電子部品・デバイス工業を含む電気機械工業(旧分類)110.7(対前年比9.4%増)、輸送機械工業99.5(同2.5%増)、化学工業100.9(同10.9%減)となっています。

図22 鋳工業生産者製品在庫指数(原指数)

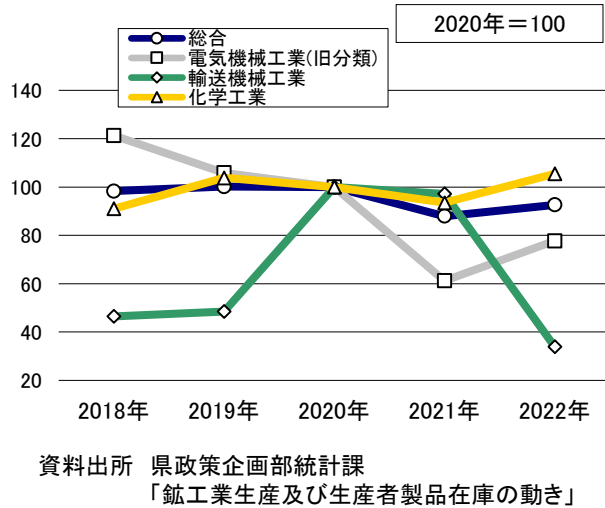
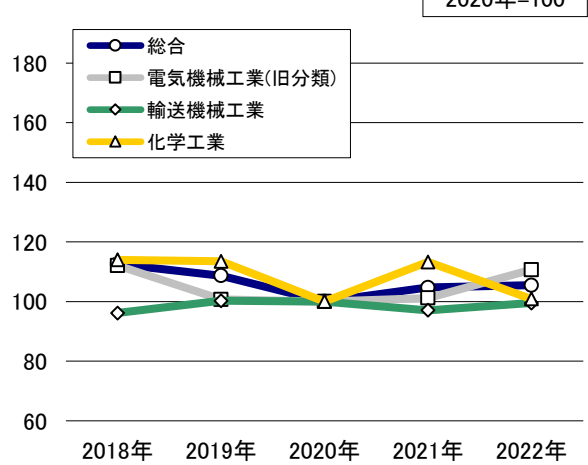


図21 鋳工業生産指数(原指数)



2022年の鋳工業生産者製品在庫指数(原指数)の年平均は92.6(2020年=100)で、対前年比5.3%の増加となりました。

主な業種をみると、電子部品・デバイス工業を含む電気機械工業(旧分類)77.7(対前年比27.0%増)、輸送機械工業33.9(同65.1%減)、化学工業105.5(同12.8%増)となっています。

2022年経済構造実態調査結果

(個人経営を除く全ての事業所が対象)

(1) 概況

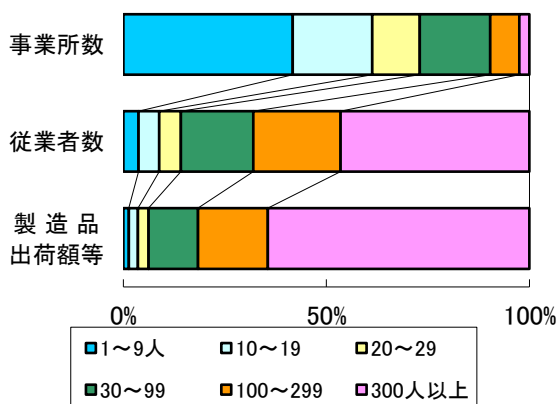
令和4年6月1日現在の事業所数、従業者数、令和3年1年間の製造品出荷額等は、事業所数が3,867事業所、従業者数は204,601人、製造品出荷額等は11兆344億円となっています。

(2) 従業者規模別にみた工業のすがた

令和4年6月1日現在の事業所数、従業者数及び令和3年1年間の製造品出荷額等を従業者規模別でみると、事業所は従業者規模の小さいものが大半で、従業者1～9人の小規模事業所が構成比で全体の41.7%(1,614事業所)を占めています。従業者数では同3.7%(7,632人)、製造品出荷額等では同1.3%(1,460億円)となっています。

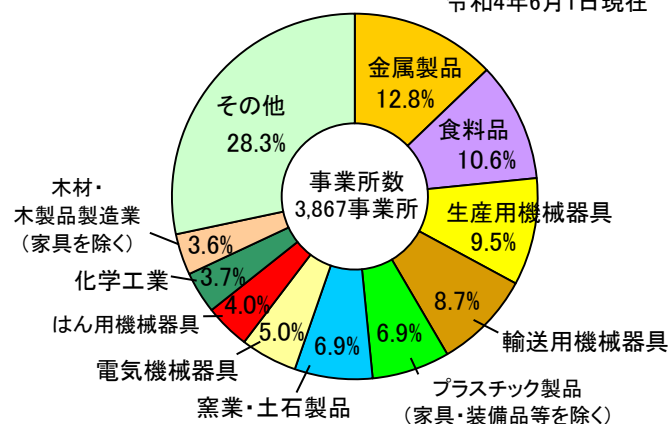
これに対して、従業者300人以上の大規模事業所は構成比で全体の2.5%(98事業所)ですが、従業者数では同46.5%(9万5,169人)、製造品出荷額等では同64.4%(7兆1,088億円)を占めています。

図23 従業者規模別状況 令和4年6月1日現在



資料出所 総務省・経済産業省「経済構造実態調査」

図24 業種別事業所数・従業者数、製造品出荷額等割合 令和4年6月1日現在



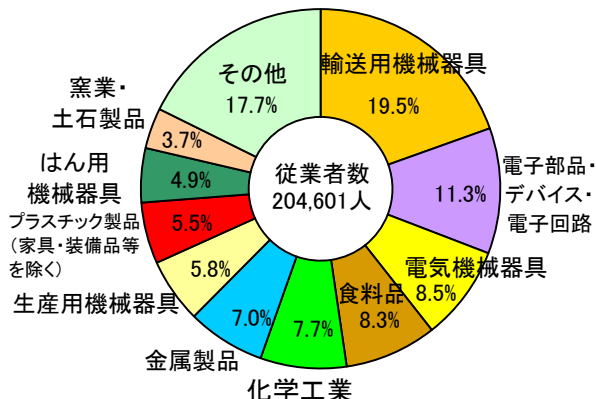
(3) 業種別にみた工業のすがた

事業所数では金属製品製造業の占める割合が12.8%(496事業所)で最も高く、次いで食料品製造業が10.6%(408事業所)、生産用機械器具製造業が9.5%(367事業所)となっています。

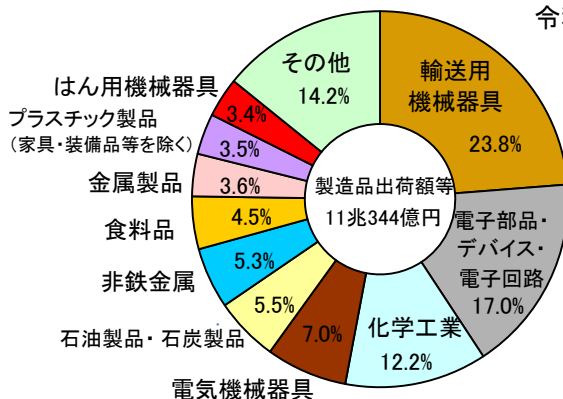
従業者数では、輸送用機械器具製造業が19.5%(3万9,978人)、電子部品・デバイス・電子回路製造業が11.3%(2万3,118人)、電気機械器具製造業が8.5%(1万7,477人)となっています。

製造品出荷額等では、輸送用機械器具製造業が23.8%(2兆6,211億円)と最も高く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が17.0%(1兆8,751億円)、化学工業12.2%(1兆3,484億円)となっています。

令和4年6月1日現在



令和3年



資料出所 総務省・経済産業省「経済構造実態調査」